

【様式】

平成29年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立津高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		「自主・自律」の校訓のもと、高い知性と教養を持ったリーダーが育つ学校
(2)	育みたい 児童生徒像	1. 日常において「自主・自律」を実践できる、知・徳・体の調和のとれた生徒 2. 主体的に学び、自らを律し、粘り強く努力することで、生涯にわたって自己実現を図るとともに、心豊かで、高い志を抱いて社会に貢献できる生徒
	ありたい 教職員像	1. 子どもたちに対する愛情にあふれ、豊かな人間性、人権感覚を備えた教職員 2. 目指す学校像の実現に向け、前向きでチャレンジ精神にあふれた組織風土の中で、同僚性を育み、自らの専門性を高め続ける教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・質が高く、生徒が能動的に取り組む授業 ・安全で安心できる学校生活と一人ひとりが大切にされる教育活動 ・総合的な学力の伸長と進路希望実現 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学力と人間力の伸長、そのための教育活動の充実 安心・安全の学習環境 <p><地域社会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で信頼される「公立進学校」として、将来の社会を支える市民を育成するとともに、地域を活性化させる教育活動を行うこと 	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><家庭></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども的人間的成長と進路希望実現 <p><小中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の学力及び人間力の伸長 ・学習活動における連携・協力 <p><地域社会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとしての姿勢や態度の育成 ・地域活動への生徒の積極的な参加 <p><大学、研究機関等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的研究の理解と興味・関心の喚起 ・人的、物的な教育資源の活用 <p><卒業生（同窓会）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自主・自律」の伝統の継承 ・同窓会活動における在校生との交流 	<p><家庭></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校教育方針の理解と協力 ・相互の信頼の下での意思疎通 <p><地域社会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の人間力、社会性の向上のための活動の機会や場の提供 <p><大学、研究機関等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な研究活動の機会や場の提供 ・生き方や学部選択等を考える機会や場の提供
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>○「高い知性と教養を持ったリーダーの育成」という学校のビジョンに共感し、学校長を中心に全職員がやりがいを持って、積極的に取り組んでいる。</p> <p>○「凡事徹底」「人間力向上」「学力向上」「進路実現」というすべての教育活動におけるキャリア教育に組織的に取り組むことで、保護者や地域の期待に応えている。</p> <p>○働きやすい職場環境の実現を図る必要がある。</p>	

(4) 現状と課題	教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自律した学習者を育成するために、より質の高い授業を目指した組織的な授業改善を進める必要がある。あわせて、学習指導要領改訂や高大接続改革も見据え、探究活動を柱としたカリキュラムマネジメントを行う必要がある。 2. 人と共感する心や相手の立場に立って考えることなど、人権意識を育む取組を全ての教育活動において推進する必要がある。 3. 防災に関わる情報を充分活用し、防災教育を充実するとともに、安心・安全な学校づくりを目指して、学校環境の充実を図る必要がある。
	学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒の自己実現に向け、校訓の「自主・自律」の精神に基づき、主体性を引き出すために、キャリア教育を教育活動の基盤に据え、一人ひとりの教員の実践力、学校の組織力を更に向上することが求められている。 2. 生徒の持つさまざまな課題に対応するため、健康・教育相談体制の充実を図る必要がある。 3. 学校を取り巻く環境の変化に迅速に対応するため、常に教育活動全般について、検証・検討・見直しを行う必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自律的な学習者の育成・生徒の進路実現に向け、キャリア教育を基盤に、生徒の学びを俯瞰した教育計画のもとで、教育活動を推進します。そのために組織的に授業改善、実践研究に取り組めます。 2. 学習指導要領改訂や高大接続改革も見据え、探究活動を柱としたカリキュラムマネジメントのもと、教育活動全体を充実させます。またSSH事業を全校体制でさらに推進できる体制と仕組みも充実させます。 3. 生徒一人ひとりの人間力を高めるため、「自主・自律」の精神を醸成するとともに、人権感覚あふれる学校づくりを推進し、生徒の基本的な生活習慣の確立や自主的な活動を奨励・支援するための取組を推進します。
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育活動学習や進路、学校生活、健康等の生徒の多様な課題やニーズにきめ細やかに対応できる学年、分掌の体制を整備するとともに、各セクション間での情報共有、連携強化を図ります。 2. 組織的な取組を継続・発展させるために、学習指導、生活指導、進路指導等における中核的リーダー、若手の人材育成を図ります。校内の各組織において、学び合う組織風土の中で、リーダーシップやフォロワーシップを育成するとともに、教員の資質向上を図ります。 3. 業務の効率化、総勤務時間の縮減等に取り組み、すべての教職員が意欲をもって、健康で働くことのできる職場づくりを進めます。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
質の高い授業づくりと学習習慣の確立	<p>◇質の高い授業づくり</p> <p>学習指導や進路指導における専門性や実践力向上を図る取組を組織的に推進します。</p> <p>【活動指標・成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートを年2回実施します。 ・授業アンケート項目「先生の熱心さ・態度」および「授業計画と対応」について、生徒の回答の③「ほぼ満足」および④「満足」の割合の合計の値が95%以上、かつ④の値が60%以上を目指します。 ・授業アンケート項目「学力・技術力向上」および「生徒の満足度」について、生徒の回答の③「ほぼ満足」および④「満足」の割合の合計の値が90%以上、かつ④の値が50%以上を目指します。 <p>◇学習習慣の確立</p> <p>(1) 学習習慣の定着を図るため、初期指導を充実します。</p> <p>【活動指標・成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語、数学、国語の「学習ガイダンス」を実施します。 ・振り返りアンケートにおいて、各教科とも「役立った」「まあまあ役立った」の合計が90%以上となることを目指します。 <p>(2) 学習内容の定着を図るための指導について、組織的充実を図ります。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各定期考査前に自主的な学習習慣の確立を目的とする補習学習期間を設定します。 	<p>生徒の視点から授業改善を進めるため、授業アンケートを実施しました。</p> <p>前期分では、「先生の熱心さ・態度」④67.7%、「授業計画と対応」④60.7%、「生徒の満足」④54.2%が目標値に達し、それ以外の項目は目標値まであと1～5ポイントという結果でした。</p> <p>後期分は3月に実施します。</p>	<p>「学習ガイダンス」を実施しました。</p> <p>前期中間考査・期末考査期間中に補習学習を実施しました。</p>

改善課題

・「新テスト」への対応も考えながら、教員一人ひとりがより意欲的に授業力向上等に取り組めるよう、日常的に学び合う校内研修や各教科研究会における活動などの校内外における自主的な研修の充実・活性化を図る必要があります。

・生徒の学習をさまざまな角度から評価し、学習意欲の向上につなげるため、知識だけでなく、思考力・判断力・表現力や主体性をもって多様な人々と協働する態度などを、多面的・多角的かつ適切に評価する評価方法の研究・実践を行う必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
進路指導	<p>◇「自主・自律」の精神の涵養</p> <p>「高い知性と教養を持ったリーダー」の土台となる「自主・自律」の精神の涵養を目指し、生徒が必要な情報を自ら分析、判断し、実際に必要な行動に移せるような資質を養うことを目指します。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が将来について考えられる機会を出来るだけ多く提供します。 ・日々の学習と社会の接点が意識できるような活動を提供し、社会貢献の意識を醸成します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1進路希望実現率など。 	<p>活動指標について、年間行事計画に沿って順調に実施できました。成果指標について、最終入試結果は未確定ですが、国公立大学志望者の約70%の生徒が、6月時点での第1志望に出願できる見込みです。</p>	

改善課題

「社会貢献の意識」にかかるよりの確な指標について、検討する必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・人権を重んじ自由と責任を自覚した人間の基盤となる力を、あらゆる教育活動の中で培います。 ・生徒の自主性を大切に人権学習を展開します。 <p>【活動指標】生徒人権委員会の活動（回数・内容）</p>	<p>生徒人権委員を中心とし、人権感覚を育てる人権HRを実施できました。</p> <p>人権委員会の回数：1年9回、2年21回、3年6回。人権HRの打ち合わせや反省を行いました。</p>	

改善課題

生徒人権委員会の活動について、回数等も含め検討していきます。

項目	取組内容・指標	結果	備考
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 ・交通規則の遵守、交通マナーの向上 <p>【活動指標】交通安全週間、登校指導週間、完全下校巡視、校内巡視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動、HR活動、部活動の促進 <p>【活動指標】各種教育活動の実施</p> <p>【成果指標】部活動加入率など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの人格を尊重し、他人を思いやる心の育成 <p>【活動指標】各種集会での講話など</p>	<p>登校指導を毎日実施することで、生徒の安全とマナーの向上につなげ、地域の信頼を得ています。</p> <p>互いの人格を尊重することをねらいとし、ネットトラブル防止教室を実施しました。</p>	

改善課題

・いじめアンケート調査に加え、面談を実施しました。学年集会でアンケート調査結果をフィードバックしましたが、すべての情報を得るのは難しい面があります。今後もいじめへの対処については、必要に応じて関係機関等と連携を図りながら、問題解決に努める必要があります。

・毎朝の登校指導・あいさつ指導で、より強い体と心を持てるように取り組む必要があります。

・各学校行事において、生徒会執行部を中心に、生徒が主体となって企画・運営するスタイルで取り組みました。

項目	取組内容・指標	結果	備考
国際教育	<p>◇SSH 事業と連携した国際交流活動の推進 ニュージーランド研修の実施</p> <p>◇各種団体の主催する国際交流活動への参加を促進 県教育委員会主催の海外研修などへの参加を積極的に促す。</p> <p>【活動指標】 国際交流活動への参加生徒の、のべ人数</p>	<p>ニュージーランド研修を計画通り実施しました（参加生徒10名）。個別に海外研修（オーストラリア）に参加した生徒（1名）とともに、学年全体に活動報告を行い、学びの共有を図りました。</p> <p>エンパワメントプログラムに3名の生徒が参加しました。</p> <p>AFS 留学生（アメリカ合衆国より1名）を受け入れ、8月から2月まで学校生活を共にしました。</p>	

改善課題

全体および個人で国際的な学習をする機会を一定数提供できましたが、国際交流担当だけでなく、学年、「探究」や各教科など、他の教育活動を横断する形で取り組むべき大きなテーマの一つでもあるので、今後も校内で連携しながら取り組んでいく必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
文化活動の推進	<p>◇読書生活指導の充実 本校図書館は、読書生活を支える場、自主学習の場として、幅広い知識と豊かな情操を養う資料を収集整備して、活用の充実に努めます。また、文化活動を通じて文化的教養を育成します。</p> <p>【活動指標、成果指標】</p> <p>① 読書環境を整備し、利用を促進します。目標 3500 冊の貸出。 ② 読書指導年間計画に基づき、学年・教科等と連携し、学習やLHRへの支援をします。 ③ 各種コンクールへ応募し、上位入賞を目標とします。 ④ 蔵書管理のシステム化を図り、「学校図書館資料共有化ネ</p>	<p>貸出冊数が減り、目標には達しませんが、他は予定通り実施できました。</p>	

	<p>ネットワーク事業」を推進します。</p> <p>⑤ 図書館を文化情報センターとして位置づけ、文化・学習の情報収集と情報発信に努めます。</p> <p>文化講演会・読書週間行事（朗読会）・ビブリオバトル・推薦図書紹介・ギャラリー展示などを実施します。</p> <p>◇芸術鑑賞の奨励</p> <p>PTA主催の芸術鑑賞補助事業などへの参加を積極的に促す。</p> <p>10月3日に芸術鑑賞会（音楽分野）を実施します。</p> <p>【活動指標】芸術鑑賞会の実施</p>	<p>計画通り、芸術鑑賞会を実施しました。</p>	
--	---	---------------------------	--

・昨年と比較して、1000冊くらい貸し出しが減り、一昨年並に戻ってしまった主要な理由としては、情報の授業で図書館を利用した調べ学習がなくなったことと、夏休みの学年からの課題「本校図書館で本を借りて読むこと」が、今年は課せられなかったことがあげられます。

それもあってか、SS探究活動の調べ学習時に、自力で調べることができない生徒が多く見受けられたので、学年や担当者と連絡を密にして、予め準備できるものは準備し、対応に努めます。

・芸術鑑賞会については事前準備・事前の興味喚起も含めて、充実した内容を提供できました。次年度以降も、その日その時だけに留まらない、ストーリー性を持った企画にすべく、他の教育活動（授業や部活動、生徒会活動等）と連携した内容が望まれます。

項目	取組内容・指標	結果	備考
健康教育	<p>◇保健管理と保健教育、健康相談</p> <p>①心身共に健康で安全な生活を自主的に実践できる能力及び態度の育成に努めます。</p> <p>②健康診断、健康相談の充実と事後指導の徹底に努めます。</p> <p>③学年毎の健康重点目標に沿った健康教育の充実に努めます。</p> <p>【活動指標】</p> <p>保健講話(各学年1回)・特別支援教育研修会(1回)・「保健だより」の年10回発行</p> <p>◇救急時の対応</p> <p>①安全に対する意識を高める指導を行います。</p> <p>②救急体制の充実を図ります。</p> <p>◇教育相談</p> <p>①すべての教育活動を通して、生徒の悩みや不安の解決に向けた支援や対応を行います。</p> <p>②生徒を取り巻く環境を把握し、支援や対応を行います。</p> <p>③保護者、担任、学年主任、保健室、部活動顧問等と情報を共有しながら支援や対応を行います。</p>	<p>教育相談専門員による健康相談18回(日)、臨床心理士による教育相談11回(日)、保健講話を各学年1回、特別支援教育推進委員会を年3回、ケース会議を3回実施しました。</p> <p>また、「保健だより」を11回、「健康相談だより」を3回配付しました。</p>	

	【活動指標】 ・ 専門家による健康相談(年 12 回以上)・ 臨床心理士による教育相談「健康相談のご案内」の年 3 回以上の発行		
--	--	--	--

改善課題

・ 生徒の抱えている問題が多様化しているため、より一層保護者、担任等と連携を図るとともに、外部専門機関を有効に活用する必要があります。

・ 学校管理下でおきた災害による病院受診が 5 年ぶりに増加しました。安全に対する意識を高め事故の未然防止に努めるとともに、危機管理発生時の救急体制について教員間で改めて共有する必要があります。

・ 専門家による健康相談と並行して特別支援員との面談を実施していますが、継続的な面談を希望している生徒が増加してきているので、限られた支援員の来校回数では日程的な調整が困難になっています。

項目	取組内容・指標	結果	備考
防災教育	◇防災学習の充実 避難経路、避難方法の年度早期における確認 より実情的な場面を想定した避難訓練の実施 「防災ノート」を活用した防災学習の実施 【活動指標】 防災訓練、防災学習の実施（年各 1～2 回）	年度当初に、避難から点呼、人数確認に至る行動や、避難経路について確認しました。 10 月 4 日に、授業時の巨大地震発生を想定した避難訓練、防災学習を行いました。防災学習には、『防災ノート』を活用し、家庭でも防災を意識した話し合い等を行いました。 PTA からの提案を受け、「白い小箱」（個人用非常備蓄品）を、全生徒分、購入・備蓄しました。	

改善課題

「授業中に巨大地震が発生した」という従来とは異なる実情的な場面を想定した避難訓練を行い、生徒や教員に日常を見つめ直すきっかけを提供できました。今後も、「休み時間に巨大地震が発生」「登校中に地震が発生」など、様々なケースを想定した訓練や学習を重ねることが効果的だと考えます。また、校内の設備に一部老朽化や耐震面で不安な箇所が見られるため、早急に改善を進める必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
探究的活動の推進と SSH 事業の取組	◇探究活動を核とする科学教育システムの構築 ・ 科学的な知的な好奇心や探究心を醸成し、課題解決能力やコミュニケーション能力等を育成します。 ・ 探究テーマの設定を、生徒の興味・関心により自主的に設定できる仕組みを構築します。 ・ 英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、海外の学校との交流等によって国際的視野を広めま	夏季フィールドワークや SSH 講演会を実施し、科学的な知的な好奇心を喚起しました。 SS 探究活動 I において「リベラルアー	

	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学や研究機関、地元企業との連携を図り、より質の高い研究を行います。また、小中学校や他の高校との連携の在り方を研究します。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSH 事業等を通じて、研究活動やフィールドワーク、講演会などの機会を数多く設けます。 ・SS 探究活動Ⅰにおいて、新たな取り組みとして「リベラルアーツ」や生徒の主体的なテーマ設定による「テーマ研究」などを行います。 ・海外研修にむけた事前・事後学習を充実させます。 ・大学や研究機関、地元企業との連携を密にとり、専門的な研究活動の機会や場を提供します。 <p>◇学習指導要領改訂や高大接続改革も見据え、教育活動全体が充実するような探究活動や SSH 事業等の取組を検討します。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降の探究活動や探究活動にかかわるカリキュラム、SSH 事業等の検討・編成を行います。 	<p>ツ」を実施し、主体的なテーマ設定を行うための素地づくりを行いました。</p> <p>SSH 生徒研究発表会やみえ自然科学フォーラムでの発表等とおして、取組成果の他校への普及に努めています。</p> <p>ニュージーランド研修において、現地の学校と交流し、国際的視野を広めました。</p> <p>SS 研究活動において、専門的な研究活動を行いました。</p> <p>次年度以降の探究活動や探究活動にかかわるカリキュラムの検討を行いました。</p>	
--	--	---	--

改善課題

今年度より、主体的なテーマ設定による3年間の「テーマ研究」をスタートさせました。その一環としてリベラルアーツ・試行的なテーマ研究等を実施しましたが、その内容・配列等について、今年度の振り返りを元に改善していく必要があります。また、夏季フィールドワーク等で喚起した科学的な知的好奇心と探究テーマの結びつきについても検討が必要です。

海外研修の訪問先と恒常的な関係を築くこと、地元企業や小中学校、他の高校等との連携を充実させることも必要です。例えば、本校の活動に、中学生が参加し発展的な学習や研究に触れる機会を設けるなど、中学校と高等学校の学習内容の接続を図り、生徒の学びを継続・深化させるための取組を検討する必要があります。

今後も、語学力の向上や国際理解の促進とともに、世界の人々と協調していく態度を育成するために、大学との連携等を通じて、科学研究や論文作成等、発展的に学習できる機会を拡充することが必要です。

項目	取組内容・指標	結果	備考
環境・美化教育	<p>◇環境美化、公共性の向上に向けた取組</p> <p>【活動指標・成果指標】</p> <p>月1回、美化委員会による清掃用具、清掃状況のチェックとフィードバック。原則毎日、美化委員によるゴミ分別のチェック。環境美化改善へ、生徒のアイデアを取り入れた取組(年6回)を実施。常時、ペットボトルのキャップをエコキャップとして回収。美化委員による洗浄・選別後、エコキャップ運動参加企業に持ち込み。</p>	<p>学校環境デーの参加者は583名(うち生徒563名・教職員20名)でした。</p> <p>エコキャップは段ボール6箱分を回収し、美化活動は日々実施中です。</p>	

	◇環境問題に対する意識の醸成 【活動指標】 「環境週間」を設け、その一日を「学校環境デー」として学校全体で美化活動を実施。		
改善課題			
ゴミの分別が不十分であり、月に一度のフィードバック時に通知していますが、なかなか改善がみられない状況です。地域によって分別方法が異なることもあり、分別が紛らわしいものについては、わかりやすいポスターを作成すること等が必要です。			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
 また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
授業力向上の取組と教育課程の研究・改善	◇授業力向上の取組 授業研究や授業公開、授業評価等をとおして、授業力の向上を図ります。 【活動指標】 ・「授業力向上に向けて各教科の取組シート」を作成します。 ・各教科とも1回以上の授業公開を行います。また、学習指導委員が中心となって他教科の授業見学を推進します。 ・教科内の授業研究を実施し、研究協議を充実させ教員相互に授業力向上を目指します。 ・保護者を対象とした授業公開を3日間実施します。 【成果指標】 ・各教科において、年2回実施される授業アンケートを授業改善のための資料とし、成果を検証します。	「授業力向上に向けて各教科の取組シート」を作成しました。 全教科において授業公開及び研究協議を行いました。 保護者対象の授業公開を3日間実施しました。 「学校活性化支援加算」等を活用し、地域3連携校合同の授業公開と研究協議をベースにした研修会、連携校合同の情報交換会、研修会を、大学教員を助言者として招聘しながら実施しました。これにより学校間で指導方法等の情報共有を図ることができました。	

	<p>◇「探究活動」を軸とした教材開発を通じた、教員間での伝承、共有、創造</p> <p>(1) 新学習指導要領に応じた教育課程の研究と情報共有を行います。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導委員会において、次年度に向けた教育課程の研究・検討・編成を行います。 <p>(2) 「リベラルアーツ」、生徒の主体的なテーマ設定による「テーマ研究」を行います。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な教員で「リベラルアーツ」、「テーマ研究」の実施方法を検討し、改善点等を共有します。 	<p>学習指導委員会で教育課程について研究・検討しています。</p> <p>担当者による準備及び打ち合わせ会議、「リベラルアーツ」の素材集の改訂を図るワーキング等を実施しました。</p>	
--	--	---	--

改善課題

- ・「新テスト」への対応も考えながら、教員一人ひとりがより意欲的に授業力向上等に取り組めるよう、日常的に学び合う校内研修や各教科研究会における活動などの校内外における自主的な研修の充実・活性化を図る必要があります。
- ・生徒の学習をさまざまな角度から評価し、学習意欲の向上につなげるため、知識だけでなく、思考力・判断力・表現力や主体性をもって多様な人々と協働する態度などを、多面的・多角的かつ適切に評価する評価方法の研究・実践を行う必要があります。
- ・教育活動全体を通じて、学校の教育目標を実現するため、教科横断的な視点から教育活動の改善を行うカリキュラムマネジメントの考え方を重視した改善を進め、学校の組織力の向上を図る必要があります。
- ・今後も、学校間で指導方法等の情報共有を図ることや生徒が学校の枠を越えてともに学ぶ機会を設けることなどが重要です。

項目	取組内容・指標	結果	備考
進路指導に関する情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路決定に必要な情報を学年団に随時提供し、データを活用した指導体制を構築します。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外試験毎に、学年で成績分析会を開きます。 ・その内容を生徒にフィードバックします。 	<p>予定通り各校外試験毎に分析会を開くことができ、その内容を担任を通じて各生徒にフィードバックできました。</p>	

改善課題

数字には表れない生徒の資質をどう評価し、生徒に気づかせるかという点は重要です。組織的で高水準な進路指導体制を平準化できるように今後も取り組む必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
人権教育に関わる情報、方法の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人権教育に関わる研修、フィールドワーク、研究会等への参加の促進。 <p>【活動指標】 「人権だより」の発行、研修会の開催など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進協議会の設置と情報の共有 	<p>教職員向け「人権だより」を発行し、研修会の内容等の環流を行っています。教職員研修会を8月</p>	

	【活動指標】人権教育推進協議会の開催、人権教育推進計画の策定	に開き、「教師と生徒のよりよい関係」について学習しました。	
--	--------------------------------	-------------------------------	--

改善課題

外部研修会の案内は行っていますが、担当者以外への広がりには乏しい状況です。全ての教育活動での人権意識を職員間でもさらに高める取組が必要です。

項目	取組内容・指標	結果	備考
生徒情報および指導方法の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの生徒理解に基づいた支援 【活動指標】 ・学年会などでの生徒情報交換の実施 ・面談週間をはじめ、随時面談を実施 ・保護者との連携、情報共有を綿密に行います。 ・よりよい関係性構築に向けた校内での情報共有 ・特別支援教育 教員研修の実施 	<p>週1回行われる学年会毎に生徒情報を交換し、学年団で共有するとともに、必要に応じて保健部や保護者と連携して生徒がより成長できるよう取り組んでいます。</p> <p>また、面談週間以外にも随時面談を行い、生徒の思いや悩みを担任が聞き取り、指導に活かしています。</p>	

改善課題

生徒への声掛け、見守り、保護者との連携等とおしたさらなる関係づくりを、チームとして実施していく必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
働きやすい職場環境づくり	<p>(1) 業務の精選や改善、校内組織の点検等を行い、総勤務時間縮減を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教職員が計画的に業務を行えるよう月1回を基本に定時退校日を設定します。 ② 部活動休養日を週1日を基本に設定します。 ③ 会議短縮、効率化を図るとともに、回数を見直します。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 月毎に定時退校週を設定し、その中で1日以上定時退校を職員に奨めたところ、60%の職員が定時退校することができました。 ② 38部活動の全てが週1日以上休養を取得しました。 ③ 1時間以内の会議は57.3%でした。 (上の数値は7月から1月の7か月間の集計) 	

改善課題

取組が効果的だったかを検証し、引き続き業務の精選や改善、校内組織の点検等を行うことをとおして、総勤務時間縮減を図る必要があります。

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>広聴・広報活動</p>	<p>◇学校関係者評価委員会による学校評価を実施します。 【活動指標】学校関係者評価委員会を実施（年2回）</p> <p>◇ホームページの活用、自治会との連携 積極的にHPを通じた情報発信を行います。 また、「津高校だより」などを通じて、地域の方々に本校の現状をお知らせします。 【活動指標】 HPの更新（週に2回程度） 「津高校だより」の発行（月1回程度）</p> <p>◇津高入門講座、学校見学会の実施 学校の「素」の姿を中学生や保護者をはじめとした方々に公開し、本校の教育活動を理解してもらうとともに、返して頂いた感想をもとに、更なる改善につなげます。 【活動指標】 津高入門講座（8/23）、学校見学会（8/29, 30、10月）の実施</p> <p>◇学校ポスターの制作 学校PR用のポスターを制作します。 【活動指標】 ポスターの制作完了と、各学校への配布</p>	<p>第1回学校関係者評価委員会を開催しました。（第2回は2月22日に開催） HPを、週に1、2回程度更新しています。 「津高校だより」を計画通り発行しました。</p> <p>津高入門講座（8月）、学校見学会（8月、10月）を計画通り開催しました。</p> <p>学校PRのポスターを、有志生徒委員とともに制作しました。また、各中学校等への配付を行いました。</p>	

改善課題

広報活動を計画通り進めました。

今後も、地域の方々や中学生、保護者等の期待や思いに寄り添い、伝えるべきことが効果的に伝わるよう、活動全体をより良いものとしていきます。

また、本校の教育活動そのものが、校内の生徒にとってより魅力あふれるものになり、そのことが結果的に校外にも広く伝わるよう、学校全体の活動をより良いものとしていきます。